

かんめいな
にほんごきょうてい
简明日语教程

下 朱薇琼 主编



四川大学出版社

简明日语教程

(下)

朱薇琼 编著

四川大学出版社

目 录

第一部分 基础语法知识和难点分析

第一章 体 言

第一节 体言基础知识 /3

第二节 体言中的难点分析 /16

第二章 用言

第一节 用言基础知识 /29

第二节 用言难点分析 /43

第三章 助动词

第一节 助动词基础知识 /51

第二节 助动词难点分析 /75

第四章 助词

第一节 助词基础知识 /83

第二节 助词难点分析 /103

第五章 副 词

第一节 副词基础知识 /108

第二节 副词难点分析 /109

第六章 接续词

第一节 接续词基础知识 /117

第二节 接续词难点分析 /131

第七章 句法

第一节 基础知识 /133

第二节 句法难点分析 /153

第三节 大纲要求掌握的句型解释 /179

第二部分 模拟练习

模拟试题一 /189

模拟试题二 /199

模拟试题三 /209

第三部分 练习答案

第四部分 课文参考译文

附录

第一部分

基础语法知识和难点分析

第一章 体言

第一节 体言基础知识

体言是与用言相对应的古日语语法术语。体就是“主体”，言就是表示事物概念的词。体言就是作为主体的词。在现代日语中体言是一个集合概念。是名词、数词、代词的总和。

体言的共性：

1. 体言是独立词，没有活用变化。
2. 体言不同于用言，不区分词干和词尾。
3. 体言后续助词が、は、も等构成句子的主语或主题。
4. 体言后续助词を构成句子的宾语。
5. 体言后续助动词だ构成判断句的谓语。
6. 体言后续助词の构成定语，后续助词は、で等构成补语。
7. 体言可以受各种定语修饰，定语都位于所修饰的体言前面。

一、名词

名词是表示人、事物、处所和时间的体言。从意义上看，能把人、物、动作、性质、关系等作为对象来考虑的词都有可以称之为名词。

（一）名词的共性

1. 名词没有活用变化，可以后续助词が、は、も、を、に、の、で、から、より、と等助词，助动词だ构成句子的主语、宾语、补语、定语、谓语。也可以后续提示助词は构成句子的主题。
2. 名词可以接受定语修饰，构成以名词为中心词的词组，名词性词组的语法功能仍然等同于一个名词。
3. 日语名词本身没有数的变化，可以通过构词手段来明确数的概念。

（二）名词的分类

1. 接词源进行分类

按名词的来源进行分类，日语名词可以分为和语名词和汉语名词，外来语名词（来源于英、法等到其他民族语言），以及由这三类名词中的两类或两类以上合成的混和名词。

和语名词：書き方、花嫁、水、桜

汉语名词：銀行、飛行機、学校、先生

外来语名词：パン、カメラ、バス、アメリカ

混和语名词：赤字、グリーン車、急ピッチ

汉语名词指来源于古汉语的名词，在数量上多于和语名词和外来语名词。外来语名词指来源于英、法等非汉语语言的名词，主要是科技词汇。和语名词指日语固有词汇中的名词，多表示具体事物。混和名词主要是指日本人用“和语词+汉语词”或“汉语词+外来语”等形式创造出的新的名词。

2. 按构词方式进行分类

根据名词的构词方式，日语的名词可以分为单纯名词、复合名词、派生名词、转类名词、缩略名词和重叠名词。

单纯名词：花、紙、蚊、茶、ガラス

复合名词：山道、健康問題、カレーライス

派生名词：お米、話し手、保証人、寒さ

转类名词：多く、流れ、通り、白

缩略名词：バイト、高校

重叠名词：人々、方々、山々

单纯名词是指只包含一个词素的名词，其特点是具有一定的意义，其词汇意义不能再分化。复合名词指两个词或两个以上的词构成的名词。派生名词一般是指在名词前加前缀或名词后加后缀构成新的名词。转类名词一般是指动词、形容词、形容动词转换成名词使用。缩略名词指省略名词的某一部分构成新的名词。重叠名词指相同的名词重叠构成新的名词。

3. 按名词的语法功能进行分类

按名词的意义特点分类，名词分为实质名词和形式名词。实质名词可分为物质名词和意识名词。物质名词可分为普通名词和专有名词。

普通名词：山、川、草、学校

专有名词：富士山、鲁迅、東京

意识名词：論理、思想、アドバイス

形式名词：の、こと、もの、わけ

（三）名词的语法功能

1. 通过一定的语法手段，可以充当句子的各种成分。

(1) 后续格助词が，提示助词は、も等，在句子中充当句子的主语。

○田中さんは知的障害がある。/田中君有智力障碍。

○山本さんは、どんなことにも積極的だ。/山本先生对任何事都很积极。

(2) 后续格助词の，在句子中充当定语。

○小学校1年生の国語では、従来の「読む、書く」に対して、「話す、聞く」という分野の比重が大きくなった。/在小学一年级的语文课程教学中，与以往重视读、写相比，现在听、说的比重加大了。

○教育の最高機関としての大学の役割は非常に重要になってきています。/作为教育的最高机构，大学发挥了很大作用。

(3) 后续格助词を，在句子中充当宾语。

○自作を朗読する。/朗读自己的作品。

○いま大学院は社会の要請する人材を送り出すために、さまざまな改革を行っている。/现在研究生院为了培养社会急需的人才，正在进行多方面的改革。

(4) 后续格助词に、で、から、と、へ、より等，在句子中充当状语，补语。

○会計大学院でも、現役で活躍している会計専門家から指導を受けることができる。/即使在会计研究院，也能接受现职会计专家的指导。

○去年の夏より、チームは数段強い。/同去年夏天相比，队伍强多了。

(5) 后续助动词です、だ等，在句子中充当谓语。

○農は国の本（もと）、種子は農の本だ。/农业是立国之本，种子是农业的根本。

2. 名词可以接受定语修饰，构成名词性词组。

能够修饰名词的有以修饰名词为基本功能的连体词，具备修饰名词功能的形容词、形容动词、动词以及“名词+格助词の”结构，还有“という”、“といった”等复合辞，“ようた”、“みたいだ”等助动词的连体形，常见的名词性词组有：

(1) 借助助词构成的名词词组：

① 名词₁+ の+名词₂：私の本、日本語の勉強

② 数量名词+の+名词：五冊の小説、二枚の切手

③ 名词+格助词+の+名词：東京からの友人、先生との相談、政治家への献金、杭州までの切符、大学での生活。(格助词中，が、を、に不能和の重叠。)

④ 名词+复合格助词+の+名词：学生としての生活、鲁迅についての研究

⑤ 副词+の+名词：大勢の人、突然のお便り

⑥ 名词+のような/みたい+名词：西瓜のような果物、お前のようなやつ

(2) 偏正名词词组

本屋で買った辞書、美しい花、有名なお酒

(3) 并列名词词组

英語と日本語、英語あるいは日本語

(4) 联合型名词词组

友人へのプレゼント、古くからの技術

3. 时间名词和一部分方位名词可以直接修饰谓语。

昨日、学校に来ませんでした。/昨天没来学校。

今、寮で本を読んでいます。/现在正在宿舍读书。

4. 时间名词和方位名词可以被副词修饰。

ずっと昔、たいふ前、かなり以前

すぐそこ、ずっと後ろ、ほぼ中央

二、代词

代词是用来指代事物（人、物、事）的词，是名词的一种，是无活用的独立词。通过与助词结合可以在句中充当格成分。

（一）分类

代词可以分为人称代词（一般人称代词和指示人称代词）、指示代词、反身代词。

人称代名詞

第一人称（自称）		第二人称（对称）		第三人称（他称）		不 定 称	
単 数	複 数	単 数	複 数	単 数	複 数	単 数	複 数
わたくし	～ども ～たち	あなた	～がた ～たち	かれ かのじょ	～ら ～たち	どなた だれ	～がた
わたし	～たち	きみ	～たち		～ら		
ぼく	～たち		～ら	やつ	～ら		
	～ら	おまえ	～たち				
おれ	～たち		～ら				
	～ら						
	われわれ						
	われら						

指示人称代名詞（コソアド系語）

近 称		中 称		遠 称		不 定 称	
単 数	複 数	単 数	複 数	単 数	複 数	単 数	複 数
このかた	～がた	そのかた	～がた	あのかた	～がた	どのかた	～がた
このひと	～たち	そのひと	～たち	あのひと	～たち	どのひと	～たち
こいつ	～ら	そいつ	～ら	あいつ	～ら	どいつ	～ら

指示代名詞（コソアド系語）

	近 称	中 称	遠 称	不定称
物 事	これ（ら）	それ（ら）	あれ（ら）	どれ（ら）
場 所	ここ（ら）	そこ（ら）	あそこ（ら）	どこ（ら）
方 向	こっち こちら	そっち そちら	あっち あちら	どっち どちら

参考：

指示語（コソアド系語）

	近 称	中 称	遠 称	不定称
連 体 詞	この こんな このような	その そんな そのような	あの あんな あのような	どの どんな どのような
副 詞	こう こんなに このように	そう そんなに そのように	ああ あんなに あのように	どう どんなに どのように

（二）用法

1. 人称代词的意义与分法

人称代词就是指代人的代词，可以分为自称代词、对称代词、他称代词、不定称代词。他称代词可以分为近称、中称、远称三种。

人称代词的复数主要通过后续接尾词来表示，如“わたしたち、わたくしども、あなたがた、彼ら”等。

人称代词本身具有尊敬、自谦、轻视的意义，使用时要考虑对方的身份、地位、性别、年龄等因素。含有尊敬意义的人称代词有：あなた、あなたがた、そのかた、どなた等。含有自谦意义的人称代词有：わたくし、ぼく、てまえ、わたしども。含有轻视意义的人称代词有：やつ、そいつ、こいつ、あいつ等。

自称代词用于指代讲话人自己或自己一方的人。现代日语中常用的有：わたくし、わたし、あたし、ぼく、おれ等。

当孩子为听话人时，作为讲话人的亲属长辈和师长等指代自己时，一般不用自称代词而用“おじいさん、おかあさん、先生”等词。

对称代词用于指代谈话对方，即听话人或听话人一方的人，常见的对称代词有あなた、きみ、お前、あなたがた等。

在家庭中晚辈对长辈，团体组织中下级对上级的直接对话中，一般不用对称代词，而用亲属称谓或上级的职务名称。如：おじいさん、おばあさん、部长、先生、先輩。

他称代词用于指代讲话人和听话人以外的第三者。常见的他称代词有：かれ、かのじょ、じゃつ、このかた、そいつ、かれら等。

人称代词（自称、对称、他称）在句子中与助词结合，可以充当主语、宾语、补语、定语等句子成分。如：

○われわれ現代人は、もともと20万年前にアフリカで生まれました。/ 我们现代人的祖先20万前出生于非洲。

注意：

人称代词的使用要和身分、年龄、性别保持一致。

	一 般	丁 寧	尊 大	俗 語
男女通用	わたし（私）	わたくし（私）		
女性用語	あたし あたい	あたくし （わらわ）		
男性用語	ぼく（僕）	小生 てまえ（手前）	吾輩 わし	おれ わっし
老人用語	わし		わし	

2. 指示代词的意义与用法

指示代词是指用来指代事物、场所、方向的词。

根据讲话人与指代对象的空间或心理距离的远近，指示代词可以分为近称、中称、远称三类。

指示代词和助词结合，在句中可以充当主语、宾语、补语、定语等成分。

○これは一流のお店のもので、手に入れるのがたいへんです。/这是一流的店家的东西，很难买到。

注意：

（1）连体词性质的指示代词在句中直接修饰名词，构成名词性词组。

○その学校のホームページにたどりついた例もあった。/那个学校的网页有时很难打开。

○ローマ法王とはどんな人なのでしょう。/罗马法王是怎样的人呢？

（2）副词性质的指示代词可以直接修饰用言，构成状语。

○算数や理科って、そんなにいやなものかな？/数学、理科都是令人讨厌的科目。

指示代词除了在对话或者讲演中用来指代有关对象外，在文章或谈话中也常常用到，文章或谈话中的指示代词具有以下特点：

（1）在文章中，こ系词用于指代作者前面叙述过的主观上要强调的事物，或者下面要叙述的事物，在对话中，こ系词用于指代讲话人认为和自己关系大的，自己或对方刚说过的事物，或者自己下面就要谈及的事物。

○就任直後から約1カ月かけて、県内の国公立病院など各地域の拠点病院23カ所を訪問しました。これは各病院における施設やスタッフの状況などを知

るためです。/为了了解各医院的施设和职员的情况，上任一个月内访问了县内公立医院和地区医院 23 所。

(2) 在指示文章或谈话中已经出现的事物时，用そ系词。

○以前住んでいた街には、子連れで行けるおいしい飲食店が近所に 1 軒しかなかった。それは、小さなビストロで、とくに自家製ドレッシングの味が格別だった。/以前住的街上，能带孩子去的美味店在附近是有一家。那一家自制的调味品味道独特。

(3) 指代讲话人与对方过去共同经历、双方都了解、熟悉的事物时，用あ系词。此时，常伴有回忆，怀念的语气。

○あれは 1979 年、晩秋の雨の日だった。/那是 1979 年，一个晚秋的雨天。

3. 反身代词的意义与用法

反身代词主要用于反称句中的动作主体。现代日语中一般只把“自分、自身、自己、自体、そのもの、それ自体、それ自身、そのこと”等词作为反身代词。

反身代词与人称无关，根据语境可以反指任何人称，在句中和助词结合，可以充当主语、定语、谓语。一般“自分、自己”在句中指主语。“自身、自体”和复合反身代词构成同位语。

○太郎は次郎に自分のことについて尋ねた。(自分=太郎) /太郎向次郎询问有关自己的事。

○次郎は太郎に自分のことについて尋ねられた。(自分=次郎) /次郎向太郎打听有关自己的事情。

○かれは私に自分のノートを渡した。(自分=かれ) /他把自己的笔记本递给了我。

○私はかれに自分のノートを渡された。(自分=私) /我拿到了他递给我的本子。

○そのことについてはかれ自身に聞いてください。/关于那件事，请你问他自己。

○私自身もよく分からない。/我自己也很不明白。

○化学反応それ自体が新たな学問分野として生まれるようになった。/化学反应自身就是这门的新的学问问世。

三、数词

数词就是表示事物数量和顺序的词。

(一) 数词的分类

1. 基数词

基数词是单纯用于计算数目的数词，基数词又分为音读基数词（来自汉语数词）、训读基数词（日语固有的）。现代日语中多采用音读基数词。

(1) 音读基数词

一（いち）、二（に）、三（さん）、四（し）、五（ご）、六（ろく）、七（しち）、八（はち）、九（きゅう）、十（じゅう）、二十（にじゅう）、三十（さんじゅう）、四十（よんじゅう）、百（ひゃく）、千（せん）、万（まん）

十の大数：億（おく）、兆（ちょう）、京（けい）、垓（がい）、秭（し）、穰（じょう）、溝（こう）、澗（かん）、正（せい）、載（さい）。

（2）训读基数词

一（ひ）、二（ふ）、三（み）、四（よ）、五（いつ）、六（む）、七（なな）、八（や）、九（ここの）、十（と）、二十（はた）、三十（みそ）、四十（よそ）、五十（いそ）、六十（むそ）、七十（ななそ）、八十（やそ）、九十（ここのそ）、百（もも）、千（ち）、万（よろず）

2. 量数词

量数词由基数词加数量数词构成，数量数词可以分为音读数量数词和训读量数数词：

（1）音读量数词

一冊（いっさつ）、二冊（にさつ）、三冊（さんさつ）、四冊（よんさつ）、五冊（ごさつ）、六冊（ろくさつ）、七冊（ななさつ）、八冊（はっさつ）、九冊（きゅうさつ）、十冊（じっさつ）

基数词加下面的量数词构成数量数词时，也采用音读法。

年、月、日、時、分、百、千、万、度、回、本、番、メートル、個、円、歳、匹、人、階、等、条、軒、杯、週間、時間、キロ

（2）训读量数数词

一つ（ひとつ）、二つ（ふたつ）、三つ（みっつ）、四つ（よっつ）、五つ（いつつ）、六つ（むっつ）、七つ（ななつ）、八つ（やっつ）、九つ（ここのつ）、十（とお）

一日（ついたち）、二日（ふつか）、三日（みっか）、四日（よっか）、五日（いつか）、六日（むいか）、七日（なのか）、八日（ようか）、九日（ここのか）、十日（とおか）、二十日（はつか）、三十日（みそか）一箱（ひとはこ）、二箱（ふたはこ）、三箱（みはこ）、四箱（よんはこ）、五箱（いつはこ）、六箱（むはこ）、七箱（ななはこ）、八箱（やはこ）、九箱（ここのはこ）、十箱（とはこ）

基数词加下面的量数词构成数量数词时，也采用训读法。

年（とせ）、月（つき）、日（か）、通り（とおり）、回り（まわり）、色（いろ）、坪（つぼ）、間（ま）、桁（けた）、部屋（へや）

3. 序数词

表示事物的顺序、等级的数词称之为序数词，序数词一般借助接头词或接尾词来表示。

常见的接头词有“第”，常见的接尾词有：“目、番、号、位、流、級”等。

一つ目、二つ目、三つ目、四つ目、五つ目、六つ目、七つ目、八つ目、九つ目
第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十
一番、二番、三番、四番、五番、六番、七番、八番、九番、十番

4. 分数、小数、倍数、百分数

(1) 分数

分数用“～分の～”的形式表示，也可以用阿拉伯数字表示。

$$\frac{1}{2} \quad \text{二分の一} \quad \frac{3}{4} \quad \text{四分の三} \quad \frac{7}{11} \quad \text{十一分の七}$$

$$1\frac{2}{5} \quad \text{一と五分の二} \quad 3\frac{9}{10} \quad \text{三と十分の九}$$

(2) 小数

小数点用“.”来表示，汉语数字中的小数点写在正中间，阿拉伯数字中的小数点要用在左下方。

0.1 零点一 7.08 七点ゼロ八、七点〇八
63.139 六十三点一三九

(3) 倍数

倍数是用基数词加接尾词“倍”来表示。

倍になる（＝二倍になる）/增加一倍，增加到二倍

四倍になる /增加三倍，增加到四倍

三分の二になる /减少三分之一，减少到三分之二

人口が百万に増えた /人口增加到一百万

人口が百万増えた /人口增加了一百万

生産高が四倍に増えた /产量增加了三倍，产量增加到四倍

生産高が四倍増えた /产量增加了四倍

水が三分の一に減った /水减少了三分之二，水减少到三分之一

水が三分の一減った /水减少了三分之一

(4) 数

百分数用百分号“%”来表示。读作“パーセント”。

1% いちパーセント 25 にじゅうごパーセント

5. 概数词、不定数词

1) 概数词

概数词就是表示大概数目的词。常见的概数词有：

(1) 数量词+助词

三人か四人、五年ばかり、四十歳ぐらい、十日ほど

可以构成概数的助词有：か、ばかり、くらい、ほど。

(2) 连续数字概数二、三日、 四、五人、 百六、七十ページ

(3) 接词、量词、副词与数词构成概数。

数千年、十数日、約五キロ、およそ百人、二時間足らず、三百メートル余り

可以构成概数的接词、量词、副词有：数、何、余り、足らず、以下、ら、以上、未満、以前、満、中。

2) 不定数词

不定数词主要指表示疑问的数词。只有量数词和序数词有不定数词。如：

いくつ、いくら、何時、何歳、何枚、何人。

(二) 数字的用法

日语数词的用法包括名词性用法和副词不达意性用法两种。

1. 名词性用法

数词可以和助词结合在句子中充当主语、宾语、定语、谓语等成分。如：

○二人が楽しそうに会話しながら食事をしている。/两人高高兴兴地一边说话，一边吃东西。

○十五歳で非命に斃（たお）れた学友三人を忘れることができなかった。/无法忘记十五岁死于非命的三个学友。

2. 副词性用法

数词可以直接修饰用言，表示动作、作用进行的程度。

○16ページ読むと内容が変わる代物でした。/读到16页，就知道是内容改变了的替代作品。

注意：

当数词意义上与主语或宾语相关连时，可以出现在主语或宾语之前，构成定语，也可以出现在谓语之前，构成状语。如：

○学生が二人来た。/二人の学生が来た。

○本を三冊買った。/三冊の本を買った。

○ビールを五本飲んだ。/五本のビールを飲んだ

四、形式名词

形式名词指本身没有实质性意义,通过前接表示实质意义的用言结构,使其在形式上名词化的名词。常见的形式名词有：の、こと、もの、ところ、わけ、はず、ため、まま、ほう、とおり、ふり、ほか、かぎり、かわり、次第、上。

形式名词的意义及用法：

(一) の

1. 表示事情

○天気の良いのがいやですね。/天气不好真讨厌

○外国語を使うのが難しい。/使用外语很难。

2. 表示物

○私が買ったのはこれです。/我买的是这一个。

3. 表示人

○あそこにいるのは李さんだろう。/在那里的那位是小李吧。

○立っているのは手伝いに来てくれた近所の人だ。/站在那里的是附近来帮忙的人。

4. 表示时间

○家を出たのは五時だった。/离家是五点。

○将来を考えるようになったのはいつごろですか。/是什么时候开始考虑将来的事的?

5. 表示地点

○友達が行くのはアメリカだ。/朋友去的是美国。

(二) こと

1. 表示事情

○言うことは易しいが、行うことは難しい。/说容易，做难。

2. 表示过去的经验

○あなたは北京へ行ったことがありますか。/你去过北京吗?

3. 动作、状态名词化

○見ることができない。/看不到。

○悲しいことに、もうお金は全然ありません。/伤心的是钱全没有了。

4. 表示道理

○健康を保つなら、よく運動をすることだ。/如果要保持健康，最好经常运动。

5. 表示评价、价值

○高いお金を出しただけのことはある。/值得出高价钱。

6. 表示判断的依据

○そんなことではとても大学に入れませんよ。/如果有那样的事情是进不了大学的。

○彼のことから、どうせ時間どおりには来ないだろう。/他，是不会按时来的。

7. 表示必要性、理由

○今さら彼にそんな手紙など書くことはない。/现在也不会给他写那样的信。

○心配することはないよ。/没有担心的必要。